

佐世保中央ロータリークラブ週報

R.I. THEMA

ロータリーは分かちあいの心

CLUB SLOGAN

「忘己利他」

〔熟慮断行・切磋琢磨・孟母断機〕



会長 牛島義亮・幹事 四元清安

創立 1990.9.29 認証 1990.10.22



ROTARY SHARES

第792回例会 平成19年 6月28日（木）

佐世保中央ロータリークラブ事務局
TEL25-5595 FAX25-3445

本日一会員数	41名・出席	34名・欠席	7名（免除0名）	・ビジター	1名・出席率	82.9%
前々回一会員数	41名・出席	31名・メイクアップ	10名	・出席規定除外	0名・修正出席率	100%

〈会長挨拶〉 坂井智照会長



今回で44回目となる例会挨拶です。今まで、つまらない話もつまらない話も皆様にお付き合いいただいたことに、心より感謝申し上げます。

節気ではちょうど夏至にあたります。昼は長く夜は短い期間で、出番の多い太陽も疲れ気味で、休憩のために梅雨があるのかも知れません。この季節の移り変わりのように、今まで長い話も短い話もありましたが、本当に毎日色々なことが起こり、過ぎ去っていったのだと振り返りながら思い出しております。本年は44回という例会を、理事・役員一同、誠心誠意、真心を込めて運営してきたつもりですが、不行き届きの点も多々あったと存じます。どうか皆さんの寛大な心でお許し頂けますようお願いいたします。

また挨拶の中におきましては、世界平和であったり、素敵な大人の作り方であったり、思いつくままの言葉を雑然と並べ立て、皆さんにはお聞き苦しい点もあったことと思いますが、全て私の偽りない本音であります。ただそんな私の思いも虚しく、まだまだこの世界は、この日本は、この佐世保は「素晴らしい！」と100点満点には届いておりません。

今後も目標を高く高く掲げ、手に手を取り、まだ

まだ終わらないそれぞれの寿命をかけて、元気な中高年の存在をこの佐世保中央ロータリークラブより世にアピールできればと思います。

最後に、皆さんのもう若くはないお体の健やかなることを祈念し、この1年の皆さんのご協力に、あらためて感謝申し上げ、最後の例会挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

〈本日のビジター紹介〉

佐世保北R C 松尾辰二郎様

〈幹事報告〉

1. 例会変更
ありません

2. 来 信

国際ロータリー

①2007年7月国際ロータリー半期報告書

②2007～2008年公式名簿

国際ロータリー日本事務局

国際ロータリー2007年規定審議会決定報告書

ガバナーエレクト事務所

2009年国際大会開催地変更のお知らせ

韓国・ソウルからイギリス・バーミンガムへ変更

松浦R C

第4・5・6グループIM報告書

唐津中央R C

第28回R Y L A記録誌送付について



〈ニコニコBOX〉

☆2006～2007年度 坂井智照会長・溝上純一郎副会長・田雑豪裕幹事・野村和義副幹事

本日、無事にこの日を迎えられましたことを、心より感謝申し上げます。

皆様方におかれましては、この1年間で不満も多々あったかとは思いますが、そこはロータリーの友情ということで、お許しいただければと思います。今後とも末永くお付き合い頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

後のことは2007～2008年度の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

☆2007～2008年度 牛島義亮会長・日高操一郎副会長・四元清安幹事・八重野一洋副幹事

坂井会長一年間の航海大変お疲れ様でした。

溝上副会長、田雑幹事、野村副幹事、「坂井丸」の支えお疲れ様でした。

一年間の大偉業にニコニコします。

☆会員一同

坂井会長、溝上副会長、田雑幹事、野村副幹事一年間大変お疲れ様でした。そして新しい牛島丸の船出を会員一同でお祝い申し上げます。

一年間頑張ってください。

本日の合計	38,000円
本年度累計	38,000円

2006～2007・2007～2008年度

佐世保中央ロータリークラブ

—— 会長幹事交代式 式次第 ——

短縮例会

6:30 点 鐘	ロータリーソング（奉仕の理想）斉唱
会長報告	坂井 智照 会 長
幹事報告	田雑 豪裕 幹 事
出席報告	出席委員会

会長幹事交代式

6:45 開会の言葉	溝上純一郎 副会長
来賓紹介	坂井 智照 会 長
来賓挨拶	野田三地之 特別代表
会長挨拶	坂井 智照 会 長
幹事挨拶	田雑 豪裕 幹 事
新会長・幹事紹介	坂井 智照 会 長
バッジの交換	
鐘の伝達	

SAA交代

7:10 前会長・幹事への感謝状・記念品贈呈	牛島 義亮 会 長
前会長・幹事夫人への花束贈呈	
会長・幹事夫人	

役員・理事・米山奨学生の紹介

会長挨拶	牛島 義亮 会 長
幹事挨拶	牛島 義亮 会 長
激励の言葉	四元 清安 幹 事
閉会の言葉	福田 英彦 パスト会長
	日高操一郎 副会長

7:30 点 鐘

懇親会

7:35 会長挨拶	牛島 義亮 会 長
コーラス	
乾 杯	松尾辰二郎 拡大補佐
祝 宴	
ビデオ放映	

ロータリーソング（手に手つないで）

9:00 万歳三唱 朝長 則男 佐世保市長

2007～2008年度 佐世保中央ロータリークラブ 会長幹事交代式挨拶

坂井智照会長



本日はご多忙の中、2007～2008年度会長幹事交代式にあたり、佐世保中央ロータリークラブ名誉会員 佐世保市長朝長則男様、当クラブ特別代表の野田三地之様、当クラブ拡大補佐の松尾辰二郎様、はじめ会員の皆様、そして多数の奥様方のご出席を賜り誠に有難う

御座います。

「はじめまして、！」と新鮮な気持ちでご挨拶申し上げスタートしたこの1年がついに終焉を迎えます。折々にご指導を頂いた皆さん、支えとなっていた皆さん、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。お蔭様にて無事にこの日を迎えられました。ご心配、ご不安な方もおられたことと存じますが、『集いて「一心・一愛・一徳」念うて「飲水思源」』というスローガンを掲げ、何とかこまでたどり着きました。「世の中とは思いつ通りにいかないことばかりだ。」と例会挨拶で幾度かお話したことを実感する1年であったかもしれません。また普段の仕事の場面において「娑婆世界とは修行するところなのです。」と申しております通りの1年でした。本当に様々な思い出がございます。

思い通りにいかないことも、共にある皆様の愛情で乗り切りました。修行のように感じられた辛いことも、共にある皆様の友情で乗り切れました。そして何よりこの佐世保中央ロータリークラブというもの存在自体が私の支えとなっていることに気付かされました。今までのクラブの歴史が励ましともなり、過去現在を含めたメンバーの存在が応援ともなり、力強く私を支え、そしてこの私の頼りない背中に、聞こえない「ガンバレ、！」を何度も投げかけていただいた気がします。このクラブに入会してより17年、絶やすことなく灯されていた優しい明かりの

正体に、やっと気付くことができました。

こんなにも暖かくも心地よい場所を見つけられたことに感謝し、この御縁の有難さを今もって噛み締めております。ただ、この安住の地より外にはまだまだ不安や恐怖が混在する世の中があります。そんな広い世の中で、まだまだ知らないことを恥ずかしく思うことも多く、半世紀以上を生きてみてもまだまだ疑問ばかりで、修行不足だと日々感じております。それでも、そんな私の言葉に耳を傾けてくださる方々がいることは、今日の前にある確かな幸せだと感じています。

毎週の例会挨拶においても、私のような薄学無知な者の言葉を黙って聞いていてくれましたことを有難く思っております。その中で、遥か高みにいらっしゃるお釈迦様のお言葉を恐れ多くも拝借し、皆様の生活の中にある言葉を選び、私なりに、もう一つの物差しという尺度をお伝えしたく、「一言仏教講座」というお話をさせて頂いております。皆さんは、すでに立派なお眼鏡をお持ちでしょうが、それ以外にもこんな物のはかり方があるのだという事をご紹介したいとの想いで、時には、説教くさく、お耳汚しになったことであろうかと存じますが、この私の至らない想いを少しでも汲み取っていただき、参考までになればと考え、本日の例会まで続けさせて頂きました。そして図々しくも、毎週続けてきた「一言仏教講座」の最終回をさせて頂きたいと思っております。

最終回一言仏教講座

『合 掌』

インド起源の礼拝の仕草で、両手のひらを胸または顔の前で合わせるものです。右手は仏の象徴で、清らかなものや知恵を表し、左手は衆生、つまり自分自身であり、不浄さを持つてはいるが行動力の象徴であるとされます。両手を合わせることにより、仏と一体になることや仏への帰依を示すとされ、他人に向かって合掌をすることは、その者への深い尊敬の念を表します。そして、合掌したその手をもう一度開くとき、その姿は自然と受け入れる姿勢になります。自分が独りでないことを知れば、自然と他人を受け入れ、あるいは許し、あるいは認めるということが出来ます。日々感謝して生まれる合掌があれば、そこから優しさが生まれ、より幸せを感じるための最高の準備ができるのだと思います。

「ひとしずくの涙 はろうておのずから 合掌となる教えの尊さ」

これで私の会長としての役目を終えます。最後に、新しい会長・幹事の健闘を祈念し、次年度の佐世保中央ロータリークラブがより輝かしい大輪の花を咲かせてくれることを願い、2006～2007年度を閉幕とします。

牛島義亮新会長



今日は皆様お忙しい中、佐世保中央ロータリークラブ2007～2008年度会長幹事交代式に朝長佐世保市長ご夫妻、野田三地之特別代表ご夫妻、当クラブ拡大補佐の松尾辰二郎様はじめ会員の皆様、そして多数のご夫人のご出席を賜り誠に有り難うございます。

2007～2008年度の会長を勤めさせて頂きます牛島義亮でございます。27年組の若輩者ですがどうか宜しくお願いします。

前年度坂井会長、田雑幹事、溝上副会長、市長になって名誉会員になられた朝長元副会長、野村副幹事、一年間大変ご苦労様でした。会長は踊り場といわれた一年でしたがそれは2740地区で今まで経験がなかった一年だったと思います。16年活動を同じくして来た朝長会員の佐世保市長立候補、選挙、当選という劇的な舞台になった踊り場でした。ややもすると動きにくい会長と言う立場でしたが、決して押しつけでなくメンバーの気持ちを一つにまとめられたリーダーシップは素晴らしいものでした。急遽の例会変更とか、その結果見事に朝長さんが佐世保市長になられて本当に良かったなと思います。中央ロータリーが出来てからの会員全員の夢でしたから。会長大変お疲れ様でした。

さて私は17年度の会長ノミニーに指名されて以来、よく佐世保中央ロータリーの創立時からのことを思い出しました。入会の誘いを受けた時の事や、チャーターナイトの事、よく激論を交わした亡くなった吉牟田さんや大塚君の事、16年間のロータリー活動の楽しかった事、厳しかった事が、走馬灯のように思い出されました。特に一番印象に残っているのは福田8代会長に一番暇そうだからと幹事に指名され、四元君と共に一年間一緒に苦労をし、しかしそれ以来ずっと父親みたいに可愛がってもらっている事などです。思いだせば思い出すほど今仕事、家庭生活、友情など色々な事全ての生活が夫婦共々ロータリー中心に染まってる事に気づき改めて感心しています。元来、ボランティアとは無縁の性格でしたが、いつもなぜか自然と周りの人に引っ張られて今日に至ったと思います。

最初は青年会議所です。23歳で入会し40歳まで17年間、先輩たちに俺たちがやらないと誰がやるんだと乗せられてボランティアと町おこしに邁進しました。子供が小学校にあがると朝長市長にPTA会長するから副会長してといわれてそのまま子供が一人しかいないのに13年間も子供に迷惑がられながらもPTA役員を続けてしまいました。次には新しいロータリークラブが出来るので名前だけでいいからとミスターKパスト会長に言われ入会して現在に至った中央クラブです。今になって考えてみると結局32年奉仕活動が続けている自分を見た時変わったなともいますし、全ていい方向に周りから引っ張ってもらったと思います。

そして会長エレクトになってからは、頭の中はロータリーモード一色です。次から次に来年の計画ばかり考え過ぎて四元幹事に煙たがられているのも事実です。ある先輩からは始まる前に息切れするんじゃないかといわれました。只、今日式が無事終われば明日からの運営は全て四元幹事と八重野副幹事に任せます。特に幹事には優秀な奥様のパートナーがいるので安心していただき、難しい事は私に任せてとおっしゃっていただいています。後輩への圧力は迫力のある日高副会長にお願いし、そして私に激励の言葉をいただける福田パスト会長には後見人になってもらいますので、苦情の処理は全て先生にお願いしたいとおもいます。

今日はご夫人方も多数ご出席頂いております。日頃より妻とも親しくお付き合いいただき、併せて感謝申し上げます。私、常々ロータリー活動は夫婦仲良くするための要素だと思っています。夫婦同伴の機会が多い又日頃より健康管理とか仕事の手伝いとか共同作業が沢山伴うからです。奥様もご主人だけがロータリアンと思うのではなくて一心同体で考えて頂きたいと思います。特に岩政君、野村君にはお手本になって頂きたいと思います。

さて2007～2008年度のクラブスローガンを「忘己利他」にしました。己を忘れ他に利を与えるという意味だそうです。最初スローガンを何にしようかと悩んでいた時に偶々友人の父親が比叡山延暦寺の住職になられ、その時の言葉を皆様に与えられましたので深く感銘をし使わせてもらう事にしました。

サブテーマとして（熟慮断行・切磋琢磨・孟母断機）という四文字熟語を使わせてもらう事にしました。よくよく考えたうえで思い切って実行にうつし、仲間同士互いに励ましあって磨きあい、一度始めたことは途中で止めたなら何もならないという覚悟で望むという気持ちを表しました。来期一年、会員の皆様と一緒に魅力的なクラブを目指し、新しい会員が入会を憧れるようなロータリークラブ作りに頑張りたいと思います。其の為にも皆様全員のご協力をお願いして挨拶に変えさせていただきます。ご静聴有難うございました。

四元清安幹事



「忘れまい、メモした紙を、また探す」サラリーマン川柳ではありませんが最近物忘れがひどくなりこの状態が頻繁に起こるようになりました。

今までは会長 幹事を逆の立場いうなれば「野球観戦」にたとえますと何気なく気楽な気分でビールを飲みながら外野席からマウンドを見ていたようなそんな気がいたします。

また、あらためてこの場に立ちますと皆様の視線が気になり本当に身の引き締まる思いであります。

私が口下手なもので会長挨拶の後は大変やりにくいですが、いよいよ牛島丸の出航のときを迎えまし

た。牛島会長の足をひっぱらないように、皆様の足でまといにならないように、牛島丸の乗組員の一人として、その責務を果たしたいと考えております。

また、反省すべきは、在籍期間が長い割には、ロータリーのことを何も知らないということがよくわかりました。

この一年間ロータリーのことを勉強する機会を、皆様から与えて頂いたと思い自分なりに考え行動をしていきたいとおもっております。

立場が変われば人も変わるというように、皆様のご支援・ご協力を賜りながら歴代幹事の足元に届くように、努力してまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。



〈次回例会〉

7月12日(木) 18:30～